



(株)ホーム創建女性プランナー

ほんま ちより
本間 智代里さん
(32)

お問い合わせは

(株)ホーム創建 TEL0155-26-1007へ

「住宅構造は幸福創造なり」という会社の理念を、正に地で行く本間さん。希望に胸膨らませ、今日も仕事一途に動き回っています。

特技はスキー。出身地の新得には、近くにスキー場が2か所もあって、小・中学生の頃の冬休みには、毎日のように滑り、雪と戯れていたとのこと。華奢に見えても体は丈夫。本間さんの活躍に期待が持たれます。

(取材・文)成瀬 登 撮影・村上真美

しゅんの女ひと

122



農家のお嫁さんを交えた新商品開発会議の様子



開発会議で説明に汗を流す本間さん



ホーム創建の大工さんの指導による、「子ども木工教室」のひとつコマ

理想的な家造りは

子どもの頃からの夢です

「気がついたら道立帯広工業高校建築科を卒業していました」とやんわり話し、「今は、世界的課題である二酸化炭素の排出を、少しでも削減した、ゼロエネルギー住宅の開発を目指しています」という、根っからの建築ウーマン本間智代里さん。じっくり読んで下さい。

住む人の「幸せ」一途に

「私は本能的に建物というか構造物が大好き人間です。例えば、ドライブ中でも何か珍しい構造物があると、必ず車を停めて見入ってしまうのです」と話す本間さん。差し出された可愛い似顔絵付きの名刺の肩書きには、2級建築士・宅地建物取引主任者と書かれていました。

今、本間さんは創立以来12年間勤めている(株)ホーム創建の企画開発課課長として、リフォーム工事、新商品開発、設計、HP管理、情報誌の編集などにチーム一丸となって取り組んでいます。

中でも新商品開発の視点は、「十勝、帯広の為に、どのような家が必要なのか。また、そこに住む人をどう幸せにするかを考えながら開発するのが私の使命」と断じています。

「住宅構造は幸福創造なり」という会社の理念を、正に地で行く本間さん。希望に胸膨らませ、今日も仕事一途に動き回っています。

座右の銘は「ピンチこそチャンス」



年に一度開催のお客さんと社員など、総勢300人ほどが集まった、楽しい焼肉会のひとつコマ

2009年8月、北愛国ふれあい広場にて

そもそも本間さんが建築士を志したのは小学生の時のこと、実家の家の新築工事現場で刻々と新しい家が出来上がっていくのを目の前にし、子どもながらウキウキして見ている「私が大きくなったらこんな素敵な家を造ってみたい」と思ったことに始まります。

そして今、一番の夢はヨーロッパに旅して、お城や教会など伝統を今に残す優れた建築物を直に目に触れることだそうです。

その本間さんの座右の銘は「ピンチこそチャンス」。「ピンチは一見、起こってほしくない事ですが、そのピンチこそ自分を前向きにさせるチャンスでもあるのですから」と、自信とともに答えてくれました。